

炎のマエストロ、  
燃え滾る渾身のタクト。

AUBADE HALL  
20<sup>th</sup>  
Anniversary

オーバード・ホール開館20周年記念事業

# 小林研一郎 指揮 ハンガリー国立 フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ 仲道郁代

曲目/◎グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16 ◎ベルリオーズ：幻想交響曲 Op.14

2016 10/29 [土] 15:00開演 14:30開場  
オーバード・ホール

主催：(公財)富山市民文化事業団、富山市  
共催：北日本新聞社、チューリップテレビ、FMとやま

AUBADE HALL  
20<sup>th</sup>  
Anniversary

# 小林研一郎 指揮

オーバード・ホール開館20周年記念事業

炎のマエストロ“コバケン”。  
実力と人気を誇るピアノリスト仲道郁代。  
夢の競演で贈る情熱の演奏！

# ハンガリー国立 フィルハーモニー 管弦楽団

曲目  
◎グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16  
◎ベルリオーズ：幻想交響曲 Op.14

2016 10/29 [土]  
15:00開演 14:30開場  
オーバード・ホール

主催：(公財)富山市民文化事業団、富山市  
共催：北日本新聞社、チューリップテレビ、FMとやま

# ピアノ 仲道郁代

〈デビュー30周年記念〉





# 熱く、激しく。 妖艶に、幻想的に。 そのスケールは、 目と耳を圧倒する。

“コバケン”の愛称で親しまれる指揮者・小林研一郎の指揮は、身振りの激しさに留まらず、時に大きなうなり声をあげる。“炎のマエストロ”と呼ばれる由縁は、まさにそこにある。そして、絶大な人気を誇るピアニスト・仲道郁代。この夢の競演が、今秋、富山で実現します。

オーバード・ホール開館20周年記念事業

## 小林研一郎指揮 ハンガリー国立 フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ/仲道郁代

**日時** 2016年10月29日[土]  
15:00開演 14:30開場

**会場** オーバード・ホール

**入場料**

S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、  
学生券(大学生以下)2,000円〈全席指定・税込〉

※未就学児童のご入場はお断りします。  
※学生券をお持ちの方は、公演当日、空席からお席をご用意します。  
※やむを得ない事情により、出演者、曲目が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**発売日**

アスネット会員先行発売日：2016年6月18日[土]のみ  
一般発売日：2016年6月25日[土]から

**プレイガイド**

アスネットカウンター TEL.076-445-5511、  
チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード:296-680)、  
ローソンチケット TEL.0570-084-005 (Lコード:53325)、  
アーツナビ、富山大和、高岡大和、  
開進堂楽器(楽器センター富山・高岡・金沢)、  
(株)リペアワークス(本店・富山店セクションルーム)、  
(有)ウィンズラボ、石川県立音楽堂

主催：(公財)富山市民文化事業団、富山市  
共催：北日本新聞社、チューリップテレビ、FMとやま  
お問合せ：(公財)富山市民文化事業団 総務企画課  
TEL.076-445-5610 (平日8:30～17:15)  
<http://www.aubade.or.jp>

演奏曲目 解説/加藤昌則

### 『 グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16 』

意外にもグリーグ唯一のピアノ協奏曲。

北歐ノルウェーの作曲家グリーグは、優れたメロディーメーカーでもあり、北歐独特の音階とそれに付随する卓越した和声で、魅力に満ちた音楽をたくさん書き残し、今日でも我々を魅了している大切な作曲家。そういう印象でこのコンチェルトを聴くと、少しその北欧色というのが薄い感じがしないでもないけれど、それもそのはずでこの作品はグリーグの20代半ばの作品!!20代半ばにしてこの完成度か!と驚くけれど、彼はドイツで修行し、まだ音楽後進国であったノルウェーに帰還してから、ノルウェーの音楽とドイツ由来のいわば伝統的クラシックを融合し、ノルウェー発の優れた音楽として、ヨーロッパの保守的音楽層を逆に認めさせてしまうという功績を残した人でもあります。そうした兆しは、例えば第1楽章の主題(民謡的な音の運び)にも見られるし、3楽章にも強く感じられます(民族舞曲的)。こうしたグリーグのルーツを見つめる聴き方も興味深いですし、ピアノコンチェルトとして、ピアニストの技巧術を楽しむのも面白いでしょう。グリーグは優れたピアニストでもあったので、こうした充実したピアノパートを書くことができた訳です。諸事情で彼自身の演奏による初演はなされなかったのですが、リストも絶賛したというこの協奏曲のピアノパートはパフォーマンス的にも魅了する要素が充実しています。仲道さんの演奏は、柔らかであり甘美な音楽から、劇場的なものまで多彩なパレットをお持ちです。きっとグリーグも唸らせるような、彼の期待に応える魅力的な演奏がなされるはず。聴いてみたい!!

### 『 ベルリオーズ：幻想交響曲 Op.14 』

自身の失恋事件が発端で書かれた渾身の交響曲。

ベルリオーズは、オーケストラの各楽器の使い方にも精通し、管弦楽法といういわばオーケストラを書くための教科書まで制作。種々の楽器の特質を知り尽くした彼は、特殊奏法までも駆使し、独自の音響を創りだしました。もちろん幻想交響曲にもその手腕を遺憾なく発揮!例えば…

第1楽章。楽章の終わりは和音の連続のみによる音響的空間世界が出現。(和音の組み方に人工音響的な工夫をオケに施しているところも)  
第2楽章。ハーブが2台も使われている。(ハーブそれ自体がオケの中で使われることは特殊だったにも関わらず2台も!)  
第3楽章。オーケストラの花形打楽器であるティンパニーをなんと4人(当時は2人でも異常な程)の奏者で演奏(遠くの雷鳴を描写)。  
第4楽章。ギロチンが落ちる音を、不意打ち的なオーケストラの全奏が表現(いかに鳴らすか!?各楽器の強音が鳴りやすいところを音で指定)  
第5楽章。楽章全体を通して、何やら異質な響きを感じられる方もいるかと思いますが、それもそのはずで、この楽章はアヘンによって冒された人が見る、幻惑の世界という設定になっていて、楽器の低音域だったり、鋭く強い響きになってしまう高音域だったり、また弦楽器の弓の反対側(弓を留めている木の柄の部分)使ってカタカタ、カサカサした音を出すという通常とは異なる奏法(=特殊奏法)を楽器に与えることで、その現実離れた世界を表現しているのです。これも管弦楽法の匠だから成せる技。そして奇をてらったようなこうした特殊な仕掛けが実は音楽に見事にフィットしている為に、何度聴いても面白いし、またそんな独特な世界の広がっている幻想交響曲の世界に、再び浸りたくなってしまうのです。浸りたい!!

## Ken-ichiro Kobayashi

### 小林 研一郎 (指揮)



©Satoru Mitsuta

東京芸術大学作曲科および指揮科卒業。1974年、第1回ブダベスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。ハンガリー国立交響楽団音楽総監督(現ハンガリー国立フィル)、日本フィル音楽監督、アーネム・フィル常任指揮者をはじめ、国内外で数々のオーケストラのポジションなどを歴任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章、2010年にはハンガリー文化大使の称号が授与されている。現在、ハンガリー国立フィル、日本フィルおよび名古屋フィルの桂冠指揮者、読響の特別客演指揮者、九州交響楽団の首席客演指揮者、東京芸術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院名誉教授などを務める。2012年、東京文化会館音楽監督に就任。2013年、旭日中綬章受賞。2014年3月ハンガリーデビュー40周年を記念してブダベストにて40周年記念コンサート・シリーズが行われ、ハンガリー国立フィルとマーラー:「復活」を演奏。

## Ikuyo Nakamichi

### 仲道 郁代 (ピアノ)



©Kiyotaka Saito

4歳からピアノを始める。国内外での受賞を経て、1987年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。温かい音色と叙情性、卓越した音楽性が高く評価され、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活躍している。これまでに国内外のオーケストラと共演を重ねている他、2016年秋からはデビュー30周年を記念した公演が、全国各地で予定されている。音楽の無限の可能性を信じ、子どものためのプロジェクト、ワークショップ、演劇とのコラボレーションなど多彩な活動も実施。魅力的な内容とともに豊かな人間性が多くのファンを魅了している。CDはソニー・ミュージックと専属契約を結び多数リリース。新著の『ピアニストはおもしろい』(春秋社)も版を重ねている。メディアへの出演も多く、音楽の素晴らしさを広く深く伝える姿勢は多くの共感を集めている。仲道郁代オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

## Hungarian National Philharmonic Orchestra



### ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団

1923年に創立。創立以来、ハンガリーの首都ブダペストに本拠を置き、ハンガリー音楽界の中心的な役割を担ってきた。これまでにフリッチャイ、クレンペラー、ドラティ、フェレンチク、アンセルメ、メータ、マゼール、バルビローリ、ストコフスキー、アバドなどの指揮者と共演。1987年から10年間、小林研一郎が音楽監督を務め、1997年秋には、ゾルタン・コチシュが音楽総監督に就任、世界各地からの招聘を受け40カ国で100回以上の演奏会を行う。

#### オーバード・ホール音楽入門講座

#### 作曲家・加藤昌則が誘う、 劇場型クラシック鑑賞術!

劇場でしか味わえない?!  
生のクラシック音楽を五感で堪能する!屈指の劇場・オーバードホールならではの音楽鑑賞術を、クラシック音楽入門講座特別編として、この度開講!!



- 開催日程
- 第1回/ 8月20日[土]15:00開演 「オペラ」
  - 第2回/ 9月14日[水]19:00開演 「オーケストラ」
  - 第3回/10月 5日[水]19:00開演 「バレエ音楽」
  - 第4回/11月16日[水]19:00開演 「ニューイヤーコンサート」

**会場** 富山市民プラザ4階アンサンブル・ホール  
**受講料** 一般 1講座 1,000円(シリーズ4回通し券:3,000円)  
学生(大学生以下)1講座 500円(シリーズ4回通し券:1,500円)〈全席自由〉

**プレイガイド** アスネットカウンター TEL.076-445-5511、アーツナビ、富山大和、開進堂楽器(楽器センター富山・高岡・金沢)、(株)リペアワークス(本店・富山店セクションルーム)、(有)ウィンズラボ  
お問合せ：(公財)富山市民文化事業団 総務企画課 TEL.076-445-5610 (平日8:30～17:15)

受講者  
募集!!